



彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL: 0749-22-6050(代)問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL: 0749-22-6053 FAX: 0749-22-6093

ご紹介をお待ちしています

**内痔核の治療において
切除を伴わない硬化療法
～ジオン注射（ALTA療法）～**

消化器外科
かわべ あつし
川部 篤

平素は地域医療の最前線において、多大なるご尽力を賜り、心より敬意を表します。また、当院への日頃からの地域連携にご理解とご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

当科におきましては、肛門外科・直腸肛門外科の診療体制を一層強化し、地域の皆様に質の高い専門医療を提供できるよう尽力しております。先生方におかれましても、日々の診療の中で、痔核、裂肛、痔ろうといった一般的な肛門疾患に加え、生活の質（QOL）を大きく損なう肛門脱や直腸脱といった専門的治療を要する疾患でお悩みの患者さんを診察される機会も多いことと拝察いたします。

当科では、こうした幅広い肛門・直腸の疾患に対し、患者さんの負担を最小限に抑える低侵襲治療を積極的に導入している点が大きな特色です。特に、内痔核の治療においては、切除を伴わない硬化療法、いわゆるジオン注射（ALTA療法）を積極的に行っており、患者さんの痛みや入院期間の短縮、早期社会復帰に貢献してお

ります。

さらに、直腸脱のような再発のリスクを伴う疾患に対しては、従来の肛門側からのGant-三輪法やAltemeier法といった術式に加え、低侵襲で根治性の高い腹腔鏡下直腸縫合固定術を施行しております。これは、傷が小さく、術後の回復が早いことから、特に活動的な患者さんや高齢の患者さんにも適した選択肢となり得ます。

私たちは、地域医療を支える先生方との密接な病診連携こそが、患者さんにとって最善の医療を提供するための鍵であると確信しております。肛門疾患はデリケートな問題であり、専門的な診察や治療が必要な際には、安心して患者さんをご紹介いただけるよう、専門医として責任をもって診療にあたる所存です。

つきましては、今後とも当科の専門性を地域の皆様の健康維持に活かしていただきたく、先生方からのご紹介をお待ち申し上げております。



肛門外科・直腸肛門外科の診療体制

<当科の専門診療体制と特色のご案内>

痔核（いぼ痔）の治療の基本は、外用薬や生活指導を中心とした保存療法です。しかし、それだけでは改善しない場合は、注射療法や手術療法など、状況に応じた適切な治療について相談させていただきます。痔核以外にも裂肛や痔瘻など、さまざまな肛門疾患に対する治療を行っております。患者さんのQOL（生活の質）向上と低侵襲を重視した専門治療に注力しております。



内痔核に対する治療

内痔核（いぼ痔）に対しては、従来の結紮切除術に加えて、
痛みや身体への負担が極めて少ない硬化療法を積極的に実施しています。

外痔核：一般的には保存的加療を行いますが、症状が強い場合は血栓除去や、
痔核結紮切除術を行う場合もあります

裂肛：急性裂肛に対しては基本的に保存的加療を行いますが、肛門狭窄をきたした場合や
慢性裂肛に対しては括約筋切開術や皮膚弁移動術（SSG）などを施行しています。

痔瘻：手術治療となります。病状に応じてlay open,法 corning out法あるいはSeton法などを
施行します。

ALTA療法が適応外の痔核に対しては
これまで通りの結紮切除術を施行いたします。

<予約方法>

患者さんご自身からも直接予約が可能です。
お電話の場合は、彦根市立病院 22-6050
外来4ブロックで予約をしてください。
電話受付時間：14時から16時
※紹介状の持参なく、初診の場合は、
選定療養費7,700円（税込み）がかかります。

かかりつけ医より、地域医療連携室を通して、地域枠での
ご予約をお勧めします。



肛門専門外来 診察日について

第1・第3火曜

14:00～
16:00

切らずに治す内痔核治療：ジオン®注射（ALTA療

対象疾患: 脱出を伴う内痔核 (II~III度、一部のI度やIV度)

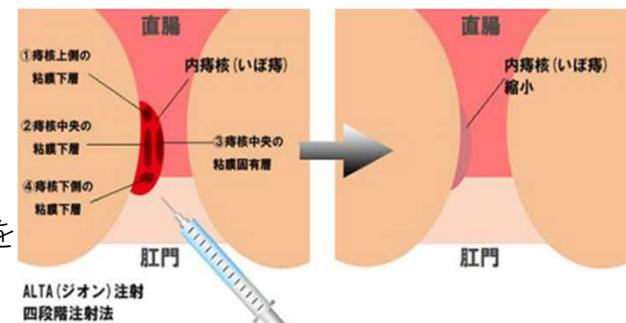
治療法	侵襲度	術後の痛み	入院期間の目安
ジオン®注射 (ALTA療法)	低侵襲	軽微	日帰り～1日
従来の手術 (結紮切除術)	中程度	中程度	1～3日前後

【薬剤と効果】

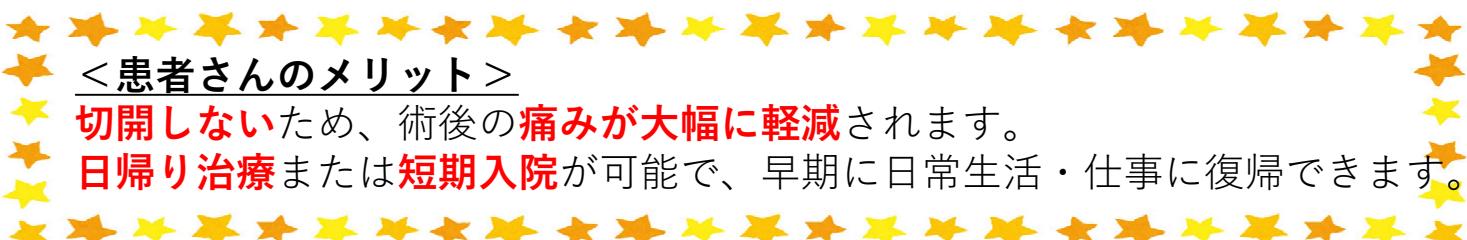
硫酸アルミニウムカリウム水和物とタンニン酸を有効成分とする薬剤を、一つの内痔核に対して4力所に分割して直接注射します。



痔核に対して薬液を十分に浸透させるための方法を
四段階注射法といいます。



これにより、痔核に流れ込む血液量が減少し、**痔核が硬く縮小・固定**されます。「四段階注射法」の講習を受講した医師のみが施行することができます。



ジオン®注射（ALTA療法）後の経過

	経過（例）	副作用（報告例）
当日	麻酔の影響がなくなるまで安静歩行開始（食事はおかゆなど）	血圧低下、下腹部痛、嘔気、などの症状がみられることがあります
翌日	投与した部分や肛門周囲の診察 排便、座浴、入浴、普通食、退院	肛門が重いような感じ・・・数日で治ります
2～5日後	通院・診察 出血の軽減 痔核の縮小	肛門の投与部分（粘膜）が硬くなる・・・自然に治ります
10日後		発熱が投与2週間後までに一過性に現れることがあります 痛み、出血、排便がしづらいなどの症状が現れことがあります
1か月後	痔核の退縮	
2か月後		

「我慢しないこと」が、
最大の治療法です！

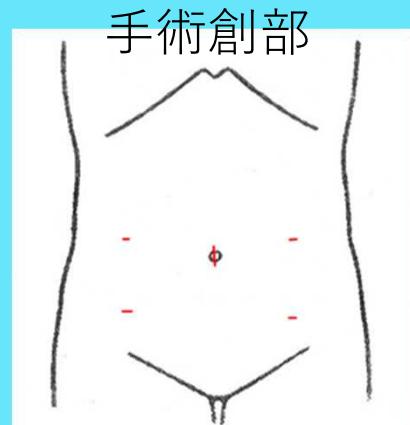
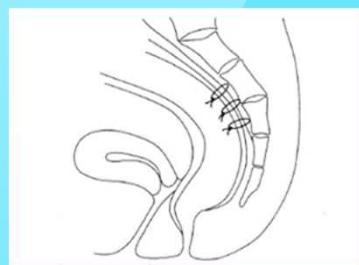
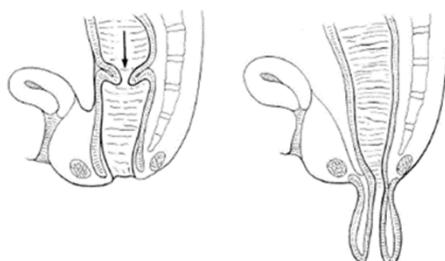


直腸脱に対する先進的・低侵襲手術

直腸脱の治療においては、再発率の低さと患者さんへの負担軽減を追求し、**腹腔鏡下手術**を導入しています。

術式	侵襲度	主なメリット	主なデメリット/適応
腹腔鏡下直腸縫合固定術	低侵襲	再発率が極めて低い 術後の回復が早い	全身麻酔が必要
肛門側手術 (Gant-三輪法/Altemire法)	低侵襲	腰椎麻酔での実施が可能 高齢者にも選択しやすい	再発率がやや高い

腹腔鏡下直腸縫合固定術：術式



＜腹腔鏡下直腸縫合固定術の特長＞

従来の肛門側からのアプローチ（Gant-三輪法、Altemire法など）と比較し、腹腔鏡下手術は体表の傷が小さく、**より根治性（再発の少なさ）**が高い術式として注目されています。

- 低侵襲性**: 腹部に数か所の小さな穴を開けるだけで手術が可能です。
- 早期回復**: 術後の疼痛が少なく、従来の開腹手術に比べ回復が早まります。
- 再発率の低さ**: 直腸を腹腔内から適切な位置に引き上げ、仙骨前面に縫合固定するため、再発が極めて少ないことが報告されています。

＜病診連携のお願いとご紹介の流れ＞

当科では、地域の先生方からご紹介いただいた患者さんに対して、これらの専門的な治療オプションを含め、**病態に応じて最良の医療を提供**いたします。

- 痔核、裂肛、痔ろうで**手術が必要と判断される**患者様。
- 直腸脱**や**肛門脱**の疑いがある患者様。

当院での専門治療（手術、ジオン注射など）が終了し、病状が安定した患者様は、**責任をもって速やかに先生方にご紹介（逆紹介）**させていただきます。

患者さんのご紹介につきましては、

当院の**地域医療連携室**を通じてご連絡いただければ、スムーズに専門医の予約が可能です。

